

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	福山市立幸千中学校	校長	藤井 護	担当者名	伊藤 直也
-----	-----------	----	------	------	-------

取組事例名 『KOSEN CHANGE PROJECT!』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

・集団や周囲の人に対して，思いやりをもって行動し，相手の立場や考えを想像し，他者を気遣える力。

【幸千中学校区 21世紀型“スキル&倫理観”】

取組のねらい

・生徒主体の話し合い活動を通して，「人を大切にすることは？」「人を大切にするために必要なルールとは？」について考え，望ましい人間関係を形成し，よりよい生活づくりに参画し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

・居場所づくり・絆づくりを進め，授業での学び合いの基盤づくりとする。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

STEP① 学級委員会（1・2年）

『KOSEN CHANGE PROJECT!』の目的を共有するため，学級委員会でデモ授業を実施。



話し合いのルール

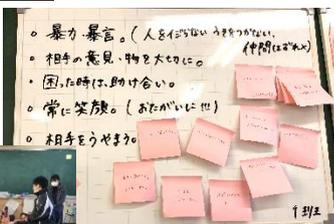
- ・なんでも言ってみる！
- ・他人の意見を否定しない！
- ・自分の意見を否定しない！
- ・常に考え続けること！

STEP② 『人を大切にすることは？』

テーマについて，各クラスで意見を出し合ってまとめる。

STEP③ 『人を大切にするために必要なルールとは？』

STEP②でまとめたことを柱に，具体的にはどんなルールが必要か，意見を出し合う。さらに，話し合った内容をもとに，生徒指導規程について協議する。



STEP④ 学級委員会（1・2年）

STEP②・③での各クラスの意見を集約し，学級委員会と生徒会執行部で共有する。



STEP⑤ 生徒会執行部

全体の意見をもとに，生徒会執行部でどんなルールが必要か意見を出し合い，生徒指導規程の見直しを進めている。



- 取組の中心となる STEP ②③に向けて学級委員会を開催し，目的の共通理解を図り，取組を進めた。
- 話し合いのルールを全員で共有し，何でもいえる雰囲気づくりを行った。
- STEP②「人を大切することは？」を設定することで，STEP③では，自分たちの学校に必要なルールに焦点化して考えられた。
- STEP④・⑤では，集約した意見の実現に向けて，生徒会執行部が具体案を考えている。
- 各クラスから出た意見は，生徒による取組だけでなく，教員の学級経営等にも生かす。

取組の成果と課題

- 振り返りアンケートにおいて，課題について仲間と話し合いをして解決することへの意欲が高まった生徒の割合が，85%であった。
- 学級委員がファシリテーターとなって話し合い活動を進め，生徒が討論したり，相互の意見をつなげて考えを広げたりする等の主体的な姿が見られた。
- 生徒アンケートにおいて「自分の考えが認められている」と肯定的に回答した生徒の割合は，84%であった。今後も他者との関わりの中でお互いを評価し，認め合う場を充実させていく。
- 生徒主体で考えたことを実現する過程を経験することで，生徒自身が学校づくりに参画した実感を持ち，自己有用感を高めることにつながる取組とする。